

令和4年度

モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関するワークショップ (第1回)

令和4年12月 1日(木)

北海道十勝総合振興局 帯広建設管理部

令和4年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線
モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

1. 事業経過..... P2
2. 令和3年度 第2回WS開催時 質問・意見について P6
3. 令和4年度 道路事業及び環境調査中間報告 ...P12
4. オンネット一地区道路環境保全会議について..... P52
5. 道路法面植生工法について..... P57

1. 事業経過

令和4年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

1-1.事業経過

年	経緯
H26(2014).11.20	●平成26年9月の御嶽山噴火を受け、文部科学省地震火山部会において、 <u>雌阿寒岳</u> を含む9火山が重点的な観測・研究を行う火山に指定される。
H27(2015).5月	●「雌阿寒岳火山防災計画(平成27年度版)」が策定され、計画の中で当該路線が <u>噴火時の避難路</u> として位置づけられる。
H27(2015).7.28	●雌阿寒岳の火山性地震増加に伴い、噴火警戒レベルが1(平常)から2(火口周辺規制)に引上げられる。 ※H27.11.13に噴火警戒レベル1に引下げ
H27(2015).12.22	●環境省中央環境審議会自然環境部会自然公園等小委員会(第31回)において、阿寒国立公園事業の変更について答申がなされ、同公園区域内の <u>町道雌阿寒オンネット一線の有効幅員変更(3.5m→5.5m)</u> が認められる。 ●自然環境調査開始
H28(2016).3月	●町道雌阿寒オンネット一線が <u>道道に昇格</u> となり、道道モアショロ原野螺湾足寄停車場線の一部となる
H28(2016).6月	●第一回懇談会が開催される。
H29(2017).11月	●第一回ワークショップが開催される。
H30(2018).1月	●平成29年度公共事業(大規模等)事前評価地区に登録
H30(2018).6月	●「平成29年度政策評価(公共事業評価)」の評価結果「要望を行うことは妥当」
H30(2018).11月	●雌阿寒岳の火山性地震増加に伴い、噴火警戒レベルが1(平常)から2(火口周辺規制)に引上げられる。 ※H30.12.21に噴火警戒レベル1に引下げ
R4(2022).12月 防災情報報告	●令和4年10月気象庁の報告「噴火警戒レベル1、噴火の兆候は認められない」 ●雌阿寒岳火山防災協議会で5月に登山ルート ¹ の安全確認や注意看板の設置を実施。

令和4年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

1-2. 自然環境調査及び懇談会・WS等開催経過：H27(2015)～H30(2018)

年度	内容	備考
H27 (2015)	自然環境調査	動植物調査、地表地質踏査、既存資料調査
H28 (2016)	第1回懇談会(6/17)	H29調査計画説明、現地視察
	自然環境調査(6月～2月)	哺乳類、爬虫類・両生類、昆虫類、魚介類、鳥類、景観
	第2回懇談会(3/17)	H28調査結果、H29調査計画説明
H29 (2017)	自然環境調査(5月～10月)	哺乳類、両生類、鳥類、植物、地質
	第1回懇談会(8/8)	H29調査結果、保全対策案説明、現地視察
	第1回WS(11/1)	H28、H29調査結果、保全対策案説明、現地視察
	第2回WS(3/30)	H29調査結果、道路設計説明、H30調査計画及び事業計画説明
H30 (2018)	自然環境調査(4月～9月)	鳥類、植物
	WS現地視察(6/29)	植物方形区位置、ヒカリゴケ生育地、重要種移植検討対象種、外来種調査説明
	第1回WS(11/21)	H30調査結果、道路設計説明
	第2回WS(3/11)	H30調査結果・計画、前回WS質問意見等

令和4年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

1-2. 自然環境調査及び懇談会・WS等開催経過：R1(2019)～R4(2022)

年度	内容	備考
R1 (2019)	WS現地視察(9/10)	外来植物生育状況確認
	第1回WS(11/29)	R1調査結果、道路設計、R2調査計画、前回WS質問意見等
	第2回WS(3/16※)	R2事業・調査計画説明、前回WS質問意見等 ※新型コロナウイルス対応で資料を送付。
R2 (2020)	第1回WS(10/6)	R2調査結果(中間報告)、R2事業計画説明、前回WS質問意見等
	現地視察(11/5)	駆除対象外来種生育状況確認
	第2回WS(3/23)	R2調査結果・R3調査計画、R3事業計画
R3 (2021)	外来種駆除試験(7/21、8/21、9/29)	アメリカオニアザミ駆除試験
	第1回WS(11/5)※現地見学会を兼ねる	WS: R3調査結果(中間報告)、R3事業計画説明、前回WS質問意見等 現地見学会: アメリカオニアザミ駆除試験地見学
	オンネットー地区道路環境保全会議準備会(第1回)(7/27)	設立趣旨説明、意見交換、現地見学 ※第2回準備会は1月に書面開催
	第2回WS(3/24)	R3調査結果・R4調査計画、R4事業計画
R4 (2022)	オンネットー地区道路環境保全会議(第1回)(6/14)	規約確認、R4活動計画、オオハンゴンソウ駆除、国立公園内道路法面見学
	WS現地視察(9/29)	オオハンゴンソウ駆除試験地、在来種播種試験地、溶岩地区、国立公園内道路法面視察

2. 令和3年度 第2回WS開催時 質問・意見について

令和4年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

2.令和3年度 第2回WS開催時 質問・意見への対応等について

	質問・意見	対応等	P
1	<p>クサヨシの導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道ブルーリスト掲載種であり外来種だが、導入するのか？ ・サロベツ原野ではクサヨシが外来種であることがわかっているようなので、確認してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に導入はしないが、候補種としている。 ・遺伝子解析によると外来由来との結果が出ている。 	P8
2	道路法面への張芝の導入について	「次第9」の「道路法面植生工法」で説明。	-
3	WS継続期間について	<p>WSについては、工事が完成し、その後のモニタリング調査が終了するまでを予定しておりますが、それらについても、今後のWSの中で検討していきたい。</p> <p>※現時点での工事着手年や完了年は未定ですが、WSでの検討内容を踏まえ、順次、整備計画を行っていく。</p>	-
4	各環境調査結果の資料等について	各環境調査結果については都度、WSで紹介している。より詳細な資料等についてはWSにて必要な資料を提供する。	-
5	観光ルートとしての活用及びオンネトー湖畔道路の拡幅について	この道路は避難路として整備することを目的としており、観光道路として整備するものではない。また、オンネトー湖畔沿いの道路拡幅計画はない。	-
6	ニホンザリガニが確認された場合の確認場所の公開について	ニホンザリガニはH28調査で螺湾川で確認されており、確認場所は非公開とする。(資料参照)	P10

令和4年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

2-1クサヨシの導入について

北海道ブルーリスト掲載種であり外来種だが導入するのか？



- ・クサヨシは日本に元々生育している在来種であるが、牧草として外国からリードカナリーグラス（標準和名：クサヨシ）が導入されたことにより、外来由来の種子が広範囲に生育していると考えられている。
 - ・積極的にクサヨシを導入はしないが、道路予定地付近で採取可能な在来種を検討したときに、十分な種子量の確保が可能で、侵略的外来種の侵入抑制効果を期待できる植物として、専門家からの助言も踏まえ、クサヨシを導入候補種としている。
- ※クサヨシ導入については、岡村北海道科学大名誉教授からも意見をいただいている。

サロベツ原野ではクサヨシが外来種であることがわかっているようなので、確認してもらいたい。



- ・サロベツ原野に生育しているクサヨシについて、農研機構農業環境変動研究センターが令和元年に実施した遺伝子解析によると、外来由来との結果が出ていることを確認しております。
- ・クサヨシの導入については、先ほど同様、現在、植物の環境調査の中で導入候補種として検討中であり、今後の調査結果や専門家の意見などを踏まえ、WSの中で意見をお聞きし検討していきたいと考えております。

令和4年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

2-1クサヨシの導入について

令和2年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する第2回ワークショップ

岡村俊邦氏による外来種対応に関する助言内容(北海道科学大学名誉教授)

項目	内容
種子採取及び発芽試験について	種子は毎年できる量も質も違うため、1年だけの発芽試験では適否を判断できない。 前年に種子を確保しても、翌年に発芽能力を有しているかどうかわからない。 そのため、種子が十分できている年に、種子の状況を見極めて、いい種子を採取することが必要。
多様性の確保について	生育する植物の多様性を確保するために、色々な種子を播種した方が良い。
クサヨシについて	クサヨシを播種するとクサヨシだけの群落が形成される可能性がある。外来種であるとの指摘もあるため、あまり導入しない方が良いが、他に適当な種類がなければ仕方がない。
順応的管理について	まずやってみる、様子を見る、またやってみるという順応的管理方法で取り組むと良い。

令和4年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線
モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

2-7 ニホンザリガニの公開について

このページは、希少動物の生息及び生息環境が脅かされる可能性があるため、非公開としております。

令和4年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

2-7 ニホンザリガニの公開について

資料-3 別紙

【公開について留意が必要な要保全対象生物】

分野	種名	懇談会での意見徴収結果
植物	なし	生育地がこの地区に限定されている種がないこと、山野草マニアの採集対象となる種がないため、種名の公開は問題ない。
哺乳類	なし	
鳥類	クマゲラ (種名公開)	当該地区に生息していることは予想されることであり、種名を非公開にすることは調査精度の信頼性が疑われる。 しかし、古巣及び食痕位置情報が公開されることで不要にカメラマンや興味本位の人間を誘引する可能性があるため、個体確認位置を含む情報は非公開。
	他の重要種 (種名公開)	確認位置情報や営巣情報を公開しなければ悪影響が及ぶ可能性は低いいため、種名の公開は問題ない。
爬虫類	なし	
両生類	エゾサンショウウオ (種名公開)	産卵地が公開されることで不要にカメラマンや興味本位の人間を誘引することにつながりかねないため、個体確認位置を含む情報は公開しない。
底生動物	ニホンザリガニ (種名公開)	当該地区に生息していることは予想されることであり、種名を非公開にすることは調査精度の信頼性が疑われる。 →生息地が公開されることで不要にカメラマンや興味本位の人間を誘引することにつながりかねないため、個体確認位置を含む情報は公開しない。
昆虫類	なし	生息地がこの地区に限定されている種がないこと、昆虫マニアの採集対象となる種がないため、種名の公開は問題ない。

3. 令和4年度 道路事業及び環境調査中間報告

3-1.道路事業中間報告

3-2.環境調査(植物)中間報告

3-3.環境調査(鳥類)中間報告

3-1. 道路事業中間報告

＜令和4年度道路事業中間報告＞

【用地測量】

令和4年12月中旬 完了予定(国有林内)

【用地買収(民地の一部)】

令和4年10月 用地買収・立木補償(民地の一部について完了)